

2022年10月20日

各位

株式会社ウィズソル 安全・品質統括部
執行役員 大橋 毅

放射線従事者の計画外被ばくについてのご報告（第2報）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てを賜りまして、厚く御礼申し上げます。

2022年10月16日（日）13時30分頃、放射線従事者2名がお客様設備において放射線検査を実施していたところ、1名が15.0mSv、もう1名が4.02mSvの被ばくとなり、5mSvを超える計画外被ばくであることを確認し、直ちに原子力規制委員会へ報告、10月17日（月）に公表いたしました。

その後、外部の専門機関に対し個人被ばく線量計（ルミネスバッジ）の緊急測定を依頼したところ、10月19日（水）、1名が25.7mSv、もう1名が8.00mSvであったとの結果報告を受け、直ちに原子力規制委員会に対し追加の報告をいたしました。

被ばく線量は年間の法令線量限度50mSvを超えるものではありませんが、放射線従事者2名は医療機関を受診し、問診結果は異常なしとの確認は出来ております。

この度は、計画外被ばくによりご心配をお掛けし誠に申し訳ございませんでした。

深くお詫びを申し上げますとともに、会社としてこのような事象を二度と起こさないよう、再発防止対策を徹底して行く所存です。

謹白